

マキノ青少年育成学区民会議 広報紙

いきいきマキノっ子

6 月 23 日にマキノ中学校で「私の思い2026」学校広場が開催されました。中学生が、日頃考えていることや、感じていることを聞かせていただきました。発表後に学区民会議役員等が審査を行い、3 年生中島有宏さんの『言葉の上手な使い方』の発表を最優秀作品として、高島市民会議にマキノ中学校の代表として報告しました。



高島市青少年育成市民会議では、市内各中学校の代表作文の中から市代表を選考します。さらに県民会議で選ばれた県内12名が県広場で発表することになります。今年度の県広場は、8 月 22 日(土)に甲賀市の甲南情報交流センターで開催される予定です。

言葉の上手な使い方

マキノ中学校 3 年
中島 有宏

「明日、みんなと公園で遊ぶけど、どう？」

「大丈夫」

私はたまにこの言葉を使ってしまいます。この「大丈夫」はどういう意味の「大丈夫」なのでしょう。「明日は行けるよ。」の「大丈夫」なのか、それとも「遠慮しとくよ。」の「大丈夫」なのか同じ言葉なのに、意味が全く違います。

みなさんは、このような場面に出くわしたことがありますか。私はあります。何度もあります。そのたびに、またやってしまったと思うのです。「大丈夫。」と答えたとき、必ずと言っていいほど相手からこう言われます。

「どっちの意味の“大丈夫”？」と。こう言われたとき、どうして言葉はこんなにも難しいのだらうと思うのです。そんな言葉の上手な使い方はどのようなものだと思いますか。

そもそも、どのくらいの人が言葉の使い方に頭を悩ませているのでしょうか。もしかすると、頭を悩ませているのは私だけなのかもしれない、

そう思い始めました。そこで、私はどのくらいの人が言葉の使い方に悩んでいるのか、気をつけているのか、調べてみました。2024 年度、文化庁が行ったアンケートに「あなたは言葉の使い方に気を遣っていますか」という質問がありました。その質問に対する回答を見たとき、私は思わず「えっ」と声をもらしてしまいました。およそ八割に及ぶ人が「非常に気を遣っている」「ある程度気を遣っている」と答えていたからです。本当に衝撃でした。まさかこれほどの人が言葉に気を遣っていたとは思いませんでした。しかし、確信も持てました。誰もが言葉の使い方に気を遣っている、悩んでいるのだと。私は、言葉の難しさを改めて実感しました。

ある日の道徳の授業でのことです。その日は言葉について考えました。私は正直道徳が苦手です。人の考えていることなど私にわかるわけがない、そう思っています。ああ、また人の気持ちを考えるのか、私はその人ではないのだから、わかるはずもないのに…そんなことを考えていると、先生がお話を読み始めました。気がつく、先生は読み終わっていました。没入していました、そのお話に。すぐく考えさせられまし

た。筆者は「頑張る」という言葉について考えていました。私自身、よく使っている言葉でしたし、その言葉が好きでした。「頑張る」は、人を元気づける、応援するといったいい意味の言葉で、言われるとみんな嬉しくなるものだと思います。しかし、お話の中では違いました。そこでは「頑張る」という言葉が人を苦しめていました。そんなことがありますのか、私はそう思いました。しかし、その話は実話です。実際に頑張れと言われて苦しんでいる人がいるのです。そんなことあるはずがない、どうやって苦しむの？そう思う人もいるかもしれません。では、想像してみてください。あなたは今夢中になって毎日何かを頑張っている、そんな中、他の人から「頑張れ」と言われるのです。一回や二回ならまだしも、毎日言われたら「もう十分頑張っているのに、これ以上頑張れと言われても…」と思えてきませんか。相手を思う言葉だったとしても、場合によっては相手を傷つけてしまうことがある。そう学んだこの日から、私は言葉の使い方に気をつけるようになりました。

言葉の使い方はとても難しいと私は思います。ただ、難しいことは決して悪いことではないとも思います。使い方によって場を盛り上げることもあるし、水を差してしまうこともあります。言葉は、消しゴムで消すように簡単には消えません。だからこそ、言葉の一語一語に責任と重みを感じながら発言してほしい、発言していきたい、私はそう思います。

もう一度聞きます。あなたにとって上手な言葉の使い方とはどんな使い方ですか。

◆その他の発表者◆

- 1年 平山 彩夏「私の夢」
- 2年 西澤 千絵「今の私があるのは」
- 3年 竹内 琴美「プリン」
- 3年 中村 穂柑「兄が繋いだ家族の絆」
- 3年 須崎 栞那「毎日を一生懸命に生きる」

●街頭啓発活動●

マキノ青少年育成学区民会議では、『マキノの子はマキノで育てる』を合い言葉に、青

少年の健全育成を目指して活動しています。

7月3日には、青少年育成強調月間の活動として、朝の出勤登校時刻にあわせて、JRマキノ駅と近江中庄駅の2か所で街頭啓発活動を行いました。

JR マキノ駅



JR 近江中庄駅



明るい家庭づくりカレンダーに

応募しませんか！

今年も「明るい家庭づくりカレンダー事業」を実施します。マキノ町内の小中学生とその保護者の方から標語を募集し、令和9年度のカレンダーに掲載します。

これからも学区民会議は、マキノ愛あふれる青少年の健全育成につながる活動を進めてまいります。地域のみなさま方のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いします。

マキノ青少年育成学区民会議事務局
520-1833 マキノ町蛭口 260-1
マキノ土に学ぶ里研修センター内
Tel 27-1131 Fax 27-0477